

Vol. 69 No. 8・9 合併号 (2025-26)

2025 (令和 7) 年 10 月 10 日発行

2025-26 年度 第 2650 地区 基本方針

未来へつなぐ

〔事務局〕

橿原市久米町 926 奈良県農業会館内

TEL : 0744-25-3986

FAX : 0744-25-3985

E-mail: krc@jeans.ocn.ne.jp

創立 昭和 32 年 4 月 19 日
会長 河村 善一
会長エレクト 中谷 昌紀
副会長 安永 吉伸
幹事 仲谷 登
公共イメージ 西尾 兆司

友よ～
この先もずっと

〔例会日〕

金曜日 12 時 30 分～13 時 30 分

橿原市久米町 934 橿原神宮 養正殿

TEL : 0744-26-2789 (代表)

2025-26 年度 橿原ロータリークラブ クラブテーマ

10月は、「経済と地域社会の発展月間」 (Economic and Community Development Month)、 「米山月間」(Yoneyama Month)です。

第 3232 回例会報告書

2025 (令和 7) 年 9 月 19 日

ーガバナー公式訪問ー

【あすか RC・やまとまほろば RC との合同】

ホスト：あすか RC

◎甘樫会ゴルフコンペで準優勝しましたので。

……………平田博也会員

◎入会お祝い 吉田浩巳会員 (13 年)

司会 SAA・富士川拓也会員
(あすか RC)

R.song 君が代・奉仕の理想
ソング・リーダー 岩井常二会員 (あすか RC)

ゲ ス ト

国際ロータリー第 2650 地区

ガバナー 小崎 学様

ガバナー補佐 吉田勝亮様

幹事長 小滝 寛様

やまとまほろば RC 米山奨学生 メーティロン君

あすか RC 米山奨学生 グエン ミン ヒウ君

橿原 RC 例会見学 西井康二氏

出席報告

会員 49 名

(9/19) 出席者 36 名、MU2 名、出席率 82.60%

(8/22 補正) " 32 名、" 4 名、" 80%

ニコニコ箱

◎自祝金……………国際ロータリー第 2650 地区

ガバナー 小崎 学様

◎本日、小崎 学ガバナー公式訪問 3 クラブ合同例会
のホストを務めさせていただきます。至らぬ点多々あ
るかと思いますが、よろしくお願い致します。

……………あすか RC 会長 鍵谷安利様

◎本日は公式訪問、小崎 学ガバナー、ご指導よろし
くお願い致します。

……やまとまほろば RC 会長 熊本かよ子様

会長挨拶

＜ホストクラブ：あすか RC 鍵谷安利会長＞

皆様こんにちは。あす
か RC の会長 鍵谷安利
でございます。小崎 学
ガバナー、吉田勝亮ガバ
ナー補佐、小滝 寛幹事
長、橿原 RC、やまとま
ほろば RC、あすか RC
3 クラブ合同公式訪問に
お出でくださり、誠にあ
りがとうございます。

先ほど、1 番初めに懇談会を終えさせていただきました。
あすか RC は模範的なクラブですねと、小崎ガバナー
にお褒めのお言葉を頂きました。私の人生において模
範的な！とお褒め頂いたのは人生初のお言葉で大変嬉
しく、今後もメンバーのご協力を頂き精進していき
たいと思っております。小崎 学ガバナーには後ほどガ
バナーアドレスでご指導よろしくお願い致します。



「ガバナーアドレス」

— Governor's Address —

国際ロータリー第 2650 地区

小崎 学ガバナー



ただいまご紹介頂きました 2025・26 年度 国際ロータリー第 2650 地区ガバナーを務めさせて頂いております小崎 学と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

所属は京都北 RC、職業分類は建設業でございます。現在、一般社団法人京都府建設業協会 会長の役職を拝命しております。

今、全国で線状降水帯による雨の影響により公式訪問を延期されている地区もあるようですが、私も立場上、影響がでますと災害対応の必要がございますが、今のところスケジュール通りに訪問できまして、やっと折り返し地点を通過したところでございます。昨日は奈良中央 RC、新しくできましたクラブに初めて公式訪問させて頂きました。本当にまだ初々しい部分もございまして新しくできたクラブならではの質問もいろいろ飛び交い、奉仕とボランティアの違いについて等の質問がありお答えさせて頂きました。本日は橿原 RC、あすか RC、やまとまほろば RC 3 クラブの合同公式訪問ということで、こんな大きな会場で、舞台も広いですね。私が今までアドレスさせて頂いた中で一番大きな舞台ですけれども、そのような場で大変緊張をしているところでございます。

この会場も中川ガバナーの地区大会の時に寄せて頂いたところで、なんか思い出深いなと思っております。私がクラブの会長をした年が中川ガバナーの一年前、田中誠二ガバナーの年度にクラブの会長を仰せつかりまして、ちょうどその年が、私どものクラブが 60 周年を迎え 8 月に記念事業がございました。当時、中川エレクトに当クラブにおいて頂いたことを鮮明に覚えております。その時、私の会長テーマが、「共に学び語らい 行動しよう」でした。なんだかちょっと聞いたことありませんか。中本ガバナー年度のテーマに非常に似てるんですね。私の方が実は先にこれを世に発表していますが、奈良の方って、非常に伝統と格式をお持ちなんです、私の考えていることと非常に近いというように思っております。

本日アドレスを話させて頂くわけなんですけれども、中川パストガバナーが今 RI のコーディネーター、RRC、会員増強のコーディネーターで、第 3 地域のトップであられるわけございまして、昨年でもすね、

研修リーダーの続きでガバナーエレクト研修というのがありまして、横浜で 3 日間パートナーを含め研修がございました。その時、中川パストガバナーがおられて、ご挨拶したところ積極的に発言するように言われました。その時から私の頭にピキッとこうスイッチが入りまして、研修の際、司会者から「以上のことについて、わかる人、誰か意見ある人」と言われて、1 番に「ハイ」と手を挙げました。私は何でも 1 番に手を挙げるんです。これには理由がありまして、人の意見に追従して考えるのは難しい。まず、一番に自分の意見を言って、しばらく場が盛り上った後で、もう一回意見を述べるかどうか考えるという作戦だったんですね。もう 1 つ言うと、私はわがままな性格で、例えばですけど野球のピッチャーでしたら先発じゃなかったら嫌なんです。汚れているマウンドで投げるのが嫌なんです。そういうタイプの人間です。この前のウェブ会議の際も、またその場で「ハイ」って 1 番に手を挙げてしまい、やはり私はそういう風にわがままな人間なんだということを改めて自覚したわけでありまして。そんなことがございましたが、地区における 3 大研修、特に委員会の皆さん、富士川委員長はじめ委員会の方々に対する講習、そして PETS、そして地区協議会、3 つの研修すべてに大宗匠に御講話頂いたわけでございます。

そもそも私の京都北 RC から、私が 4 人目のガバナーでありました。一番最初にガバナーになられた方が秦 考治郎さんという方で、学校法人同志社大学の理事長をされていた方です。1961 年から 62 年までの間ガバナーをされていました。私が生まれたのが 1962 年になりますので、ちょうど私が生まれる時にガバナーに就任されていた方です。私も同志社大学をちゃんと卒業しておりまして、どういうことをおっしゃっていたのかなと調べましたところ、秦先生は「良心の醸成」、この言葉を非常にお使いになられていたようです。「良心の醸成」、良い心をはぐくみ育てるということでありまして。学校法人同志社の建学の精神、新島襄先生がよくこのことをおっしゃられたそうです。人には良い心も悪い心も存在する。この良心というのは、自ら絶え間なく努力しなければ、はぐくみ育てることができないものであるということ、このことを感じながら大宗匠の御高話を賜ったわけでありまして。ちょうど会長研修、今日もお三方おられると思いますが、PETS の折に大宗匠がおっしゃられたことを今思い出すわけでありまして。

大宗匠は、海軍軍人に徴兵され特攻隊に志願されました。その中で戦友の方々とお話になられた中で、トルストイの小説に「戦争と平和」という本があります。その中で「何をもって人は正義となすのか」、このことをずっと戦友の方とお話になられたそうでありまして。よく大宗匠は、平和、平和というのは容易いが、そんな簡単なものではない。と、いつも私共に教えてくださいました。今、世の中では積極的平和という言葉が国連などはよく使いますが、我々も使いますが、積極的平和とは戦闘状態にあることだけではなく、皆が安心して平穏に暮らせる。そういった状態をもって積極的

平和ということであります。大宗匠はよくお話になる中で、みんな家に帰って、夫婦でいがみ合うようなことがあるだろう。或いは相続をめぐる兄弟でいがみ合うこともあるだろう。そういった小さな心の揺れ、そういったものがない状態。これぞ和平静寂ということをお私どもにお教え頂いたわけであります。

そのようなことがありまして、私は未来へつなぐという基本方針を立てさせて頂いたわけであります。ちょうど国際協議会を機にすべてのプログラムが順調に、いや順調ではないですが、いろんなことがありました。が何とか進んでおり、ちょうど6月5日にステファニー A. アーチック当時の RI 会長から早朝にメールが届きました。メールの内容で眠気眼でございましたが「RI 会長エレクト辞任」。辞任ってどういうことだ何回か読み直して、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトが辞任されたとのことを理解しました。私、名前をちゃんとと言えるように物凄くトレーニングしたんですよ。長い名前だったんでね。ブラジルでは長い名前は非常に権威があるらしいんです。マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴさん。そうしたら、私が受けた国際協議会がどうなるんだろうということをちょっと考えたんです。で、すぐ理事から RI 会長のメッセージをそのまま使用してということでありました。そこで、「ああそうか」と腑に落ちたことがありました。そもそも、昨年 RI 理事会で RI 会長テーマを廃止するという議案が承認されていたので、我々年度はメッセージという形で発信されたものでありました。そのメッセージとテーマはどう違うのかということを実はマリオ会長エレクトは1月の後半に来日された際、我々エレクトの質問にお答え頂いておりました。時に RI 事務総長が権力を振るってるわけなんですけれどマリオさんは、「私は RI のオーナーではない。私は会長でありオーナーではない、であるからして一年一年の個性的なテーマを言っても継続することができない。だから、合同計画に基づいてメッセージを作るんだ。」とおっしゃっておられました。なるほどな、と思ひ分かることが出てきました。

100 年も経ったロータリーでございます。現在のロータリーはどんなものか考え始め 2007 年 RI 事務総長が RI 戦略計画部局というものを設立されたわけがあります。これで未来のロータリー、モダンなロータリーとは、どういうものであるかということの研究を始め、いろいろなリサーチコンサルティングもかけて未来像を作る作業が始まりました。2010 年に過去のロータリーというものは、こういうものだということの中核的価値観として定義致しました。中核的価値観、時代が変化してもロータリーで変えてはいけないものが中核的価値観、柔軟性はあくまでも中核的価値観の範囲内で許されるものです。親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、以上をもって中核的価値観として過去を位置づけたわけです。そして、2016 年には規定審議会で大幅な柔軟性を説き、いきなり次の年ここで柔軟性を導入するわけであります。例会の回数の規定等々を話す等の柔軟性を規定審議会で認めたこ

とになります。そして、2017 年 6 月新ビジョン声明が表明されました。これはロータリー財団と共同で声明を発表したわけであります。これをもって、財団の重点分野を奉仕として行うということが、現代のロータリーの形となったわけであります。私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むため、人々が手を取りあって行動する世界を目指しています。これが現在のロータリーの起点と相なったわけであります。私は日本語で言いましたが、英文はエバンストンの本部の壁に文字とロゴが書かれているくらい重要なことであります。そんじょそこらでかえられないということですね。それくらい重要なことであります。

本年度、急遽会長になられましたフランチェスコ・アレツォ会長は、「自分自身の中でということをお大切にしよう」とメッセージを発信されております。「自分自身の中で」ということは先ほど申し上げました中核的価値観、心持ちということであります。そういった心持ちを持った中で、世界を変える行動人にとり我々が活動していくかということが大切であるということに相なった訳であります。そして 2019 年にアクションプラン行動計画が発表され、現在もこれが継続されているわけであります。同時にローターアクトをロータリアンにするということがあったりですね。職業奉仕分野を廃するといったことで新しいロータリーはここで動き出したわけであります。

そんな中で私も協議会をうけてでたことを鑑みまして、自分の思いを交えてこれからのクラブ作りについて少しお話をさせていただきます。RI 会長は次のように語っておられます。ロータリーの最大の財産は会員です。実績や歴史でなく地球上で最も有能なボランティアチームとして、私たち一人一人の存在こそ価値がある。この強いメッセージを私は受け止めたいと思いました。そして彼は継続性パートナーシップを柱に、クラブの活性化と会員増強を呼び掛けていました。その中でとても印象的な言葉がありました。「すべてを同じままに保つには、全てを変えなければならない」この変化の中にこそ、クラブの本質が守れるという強い意志であると私は感じました。

これから未来へ繋ぐクラブ作りについて少しご紹介させていただきます。クラブの力の源は会員一人一人です。クラブの活力は人と人との繋がりが生まれます。多様な価値観を尊重し合いながら、共通の目標に向かうこの絆こそがロータリーの強さだと私は信じています。ロータリーは非常に幅広い年齢層でいろんな職業の方が一緒にプランを構成しているわけであります。その一人一人、お互いがお互いをリスペクトし合う。そこが大切ではないでしょうか。先ほども危機管理の話を致しましたが、まず大切なことは人というのは間違いをなすものであると私は思います。その間違いを「それは少し言い過ぎてるんじゃないかな」とか「今のちょっと気を付けた方がいいんじゃないかな」お互いが「すいませんでした、今度から気を付けますね」とか、仲間同士の本当にちょっとした気遣いがあればそういったことも解消するのではないかなと私は思い

ます。

そして成長の鍵は人材の育成です。ロータリアンには完成はありません。例会や奉仕活動、青少年との交流の中で私たちは学び続けています。次の世代へ言葉ではなく背中伝える。そういった姿勢がクラブの未来には大切ではないでしょうか。例えば、青少年との関わりも事業の中でたくさんありますし、またローターアクトと RYLA 等で若い方と接する機会があると思います。

私が国際協議会に出席した時に、日本から2人のローターアクトの方が参加されました。その方とお話をさせて頂くと、やっぱり若い人たちって自らのスキルアップがしたい、ローターアクトクラブに入って自分を磨きたいということをおっしゃってられました。いろんなプロジェクトを企画すること、また専門知識を得られる。そんなことをおっしゃってられました。例えばローターアクトクラブを提唱するクラブには多くの経済人、文化人の方がいらっしゃるわけあります。例えば、今話題になっている NISA 等、若い方はこれが何なのかと思ってる。これを的確にローターアクトの例会で説明したり、投資とは何か、あるいは保険とは何か、そんなことをそういう方にお伝えするという事は非常に有効だと思います。私は京都 RC でも申し上げましたが、私が皆さんを経営塾のマネジメントの塾の講師に、そしたら結構なお金が得られるだろうというようなことを思いました。

考えてみますと、これぐらい素晴らしい講師陣がいた。あんなところに行ったら、本当にちょっとした会議で、いろんな話が聞けるんだな、というようなことも可能ではないかなと思うわけあります。当然、彼らに奉仕して頂くことの重要性も学ばなければならないけれども、ある意味では素晴らしいポテンシャルが我々にはあると思います。そして、変化への対応もクラブはこうあるべきと捉われず、進化していくべきではないでしょうか。守るためにこそ変わる勇氣を持っていきたいと私は思います。

信頼を育てる繋がりでありますが、2650 地区には96のクラブがあります。地域を超えた繋がりも新しい可能性を広げてくれるはず。地区への出向も非常に有意義なことだと思いますし、いろいろな講師陣がおられ、RLI 等々でいろいろなクラブの方とお話されるということも非常に大切なことだと思います。私は幸せだなと思うのはこんなにたくさんの人とお知り合いになれたことが、非常に私にとって私が一番得してるんじゃないかと思っています。例えば富士川委員長とこんなに簡単にいろいろあわせてもらいたいとか、あれやこれやとお話ができるなんて本当に私は幸せなんだと、素晴らしい仲間を持ったと思います。それから地区のホームページもリニューアルしましたので、是非見てください。地区のホームページもより多くの良い情報があります。そして柔軟な運営と備えが大切です。

時代にあったクラブの運営が必要なんです、委員会の構成の見直しや、危機管理体制の整備は、メンバーの安心に繋がります。備えあるクラブは強いクラブ

であります。国際ロータリーでは、3 年間のローリングプランを推奨しています。継続性を持ち、明確な目標を掲げ、地域に根指した行動力を養う。単年度ではなくて、時代のリーダーと中長期的な連携をしながらクラブを運営すべきではないでしょうか。例えば、社会奉仕委員会で、今年の事業を作るだけで終わってしまっただけでは勿体ないのではないのでしょうか。来年、再来年にこんな奉仕ができるんじゃないかというモニタリング調査をして、次の委員会にお渡しする。会長さんもそうです。自分の年度は計画した事業を行うのが普通であります、来年、再来年の事業を探す、考える。そんなことも今後必要ではないのでしょうか。よくクラブフォーラムをやっておられるというふうに向ってありますので、そういった時に今年度の委員長さんが、次のことをみんなから引き出したりすることも、非常に大切だと思います。

そして会員増強は全員のテーマです。いち委員会の担当者だけでやるのではなくて、みんなの問題として素晴らしいクラブだよということを人々にお伝え頂ければ良いと思います。町へ出たら、このグループ、このメンバーが仲良くしている姿を、ぜひぜひ見せつけてあげてください。仲間に入りたいなって思わせる姿を見せつけるということも良いんじゃないかと思っております。そして、10月24日は世界ポリオデーでございます。ポリオもあとわずか、もう少しのところまできておりますが、8月にアフガニスタンで大きな地震がありました。予断を許さない状況でありますので、日本ではもう終わったことなんて思わずに、ポリオに対する意識の敬蒙をお願いしたいと思っております。それでは結びに当たりまして、一言私の考えを述べさせていただきます。「変化を恐れず、仲間を信じ、学び合い支え合う。そうした歩みの中、未来に絆がるクラブの姿があると信じています。クラブの未来は、私たち一人一人の行動にかかっています。共に学び、共に奉仕し、次の世代へバトンを渡していきましょう。」ご清聴ありがとうございました。





【会長・幹事・役員・地区出向者懇談会】



第355回甘樫会ゴルフコンペ
9月18日(木)
於：オークモントゴルフクラブ



第 3233 回例会報告書

2025 (令和 7) 年 9 月 28 日 (日)

—第 5 組 IM (インターシティーミーティング)—

ホストクラブ：樫原 RC

於：学校法人 聖心学園

テーマ：「Culture goes beyond Borders」

～前日準備の様子～



～IM 当日の様子～



～新会員セミナー～



～県下会長懇談会～



～本会議・基調講演～
【オープニングパフォーマンス】





【樫原市 亀田忠彦市長】



【小崎 学ガバナー】



ピアノ演奏：中垣内多美会員
ソングリーダー：田中麻呂会員

【中本 勝パストガバナーより、
前年度ガバナー賞 表彰楯の授与】



基調講演
大駱駝艦主宰 麿 赤兒氏



～懇親会～



【例会ご案内】

10月17日（金）
休会

10月24日（金）《第2例会》
移動夜間例会（同好会夜間例会）
18:00～ 於：洋食 Katsui 山の辺の道

10月31日（金）《第3例会》
「グランドメルキュール奈良橿原 宴会の再開について」
グランドメルキュール奈良橿原
セールスシニアアテンダント 中川 潤氏
担当：平田博也会員

11月7日（金）《第1例会》
担当：ロータリー財団委員会

11月14日（金）《第2例会》
移動例会（企業訪問例会）
於：竹林院
担当：職業奉仕委員会

【同好会】

書道同好会

10月10日（金）・11月28日（金）
午後2時～ 於：奈良県薬業会館

【RAC 例会】

〔橿原オークホテルにて、午後7時30分～9時〕

10月14日（火）《第1例会》
国際奉仕①

10月21日（火）《第2例会》
クラブ①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。